

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 草薙 一真(Kusanagi Kazuma)
所属 (School) 工学研究科 海洋システム工学課程
学年 (Grade) 修士 1 年

留学先 (Name of overseas institution)
National Institute of Technology Karnataka,
Surathkal
留学期間 (study abroad period)
2017/08/13~2017/09/30

留学レポート Study Abroad Report

今回、私は南インドのマンガロールにある National Institute of Technology Karnataka, Surathkal (NITK) という大学に約 48 日間留学させていただきました。実は私はこのインドへの海外留学が初の海外渡航で、非常に緊張しながらインドへの出発の日までの日々を過ごしていたことを今でも覚えています。内向的であった私からするとインドのあらゆるものが本当に刺激的で、これまでの価値観がガラッと変わるような貴重な体験をさせていただきました。本当にありがとうございました。私は本当に内向的な人間でありまして、インドの最初の一週間は食事に行くということすら怖くて出来ず、まともに飯も食わず、日本から持ってきた少しの日本食で飢えをしのぐといった生活をしていました。あの一週間の出来事は一生忘れないと思います (笑)。逆に言えば、こんな内向的な私でも生きて帰ってこられたのですから、留学したいけどなかなか勇気が出ないという方は是非留学にチャレンジしてみてください。人生観がガラッと変わるような出来事が待っているとします！以降は「留学前の準備」、「研究生生活」、「留学先での生活」の 3 つの節に分けて書いていきます。

◆ 留学前の準備

まず、私が留学するまでの経緯について少し紹介します。私が所属している研究室に本年度から NITK 出身のドクターの方が配属されました。もともと留学に少し憧れがあった私はそのドクターの方の紹介で NITK に留学することが決まりました。このように留学が決まり、つばさ基金による留学支援が決まってから、留学の準備を始めました。パスポート、ビザ、海外保険、予防接種や外貨の準備などたくさんやるがありました。日本人だとインドへのビザは Visa on arrival というインドに到着してから記入するビザがあり、私はその Visa on arrival で簡単に入国することが出来ました。留学目的でも Visa on arrival が使えるみたいです。着いてからだと心配な方は通常のビザも日本で取得できますので、そちらを利用するのが良いかと思います。通常のビザだと取得するのに時間がかかるので早め早めに準備しておくのが無難です。また、予防接種は何回か打たないと効果がないものもあり、これも早め早めに準備しておくべきです。最後に外貨の準備ですが、インドの通貨であるルピーは日本で両替することが出来ません。インドについてから両替所で円からルピーに変える必要があります。私は空港で円からルピーに両替しましたが、少し多めに手数料が取られるだけで、特に問題がありませんでした。とりあえず、空港で少しだけ円からルピーに両替し、その後ホテルなどで両替するのが良いかと思っています。



◆ 研究生生活

私は、NITKにて「Long-Term predictions for Offshore Wind Turbines」についての研究をさせていただきました。私が現在行っている研究内容が浮体式の垂直軸型風車に関する研究であり、現在の研究内容に近い研究としてこの研究を行うことになりました。この研究では、モデルの浮体式洋上風車を仮に海上に浮かべ、運用期間内に風や波による荷重をどれだけ受けるかを「Long-Term predictions」によって予測し、実際の浮体式洋上風車を設計する際に応用しようといったものです。私は日本近海で適用させた場合についての研究を行いました。私自身「Long-Term predictions」についてはまったく知らず、様々な新しいことについて知ることができ、非常に刺激的で有意義な時間となりました。また、私自身の研究について発表させていただく機会も頂き、現地の学生と交流する良い機会となりました。非常に熱心に研究内容について質問して下さる方もいて、自分の研究は海外でも通用するのだという自信にも繋がりました。英会話はまったく勉強できずに留学となってしまいましたが、意外となんとかなるもので、聞き取れなかったり分からない単語があったりすれば普通に聞き返す、質問することも大事です。分からないものは分からないので仕方が無いです、気を使っても仕方がありません。先生方や学生も分からないからといって無下に扱ってきたりしません。

◆ 留学先での生活

留学先では、NITK内にあるゲストハウスというアパートのようなところで生活していました。そのゲストハウスでは、一日200ルピー(日本円に換算すると約350円)で宿泊することができ、さらに食事は一食40~50ルピー(日本円に換算すると約70~90円)ほどで、日本とは比べ物にならない価格で生活することが出来ました。しかし、いきなり停電したり、水漏れしたり、トイレトペーパーが無かったり、水が臭かったりと日本とはまったく異なる生活環境で、最初はかなり戸惑っていましたが、慣れると案外どうとでもなります。また、研究室にいる時間以外は基本自由であり、いろんなところを散歩したりしていました。私が留学した期間(2017/08/13~2017/09/30)のインドでは、ちょうど雨季となっていてほぼ毎日雨が降っており、研究室か部屋にいるかのどちらかにいることが多かったです。留学先の時期などをちゃんと考えることも大事かもしれません。インドの晴れの日にはほぼ紫外線注意報が発令されており、日中はサングラスがないと少し不便でした。あと、生活する上での言語は大学内では英語で通用しますが、大学外だとほぼ英語が通じません。生きていくには大学内で事足りませんが、少し冒険してみたいのであれば現地語も学生に教えてもらって学んでみるのもありかもしれません。

帰国の際にインドのITの中心地として有名なバンガロール(Bangalore)にも行って来ました。私が留学した地域はどちらかというと田舎のほうで人もそれほど多くはなかったのですが、バンガロールともなると人が多くて多くて驚きました。オートリキシャーという日本のタクシーのようなもので現地の荒い運転を体験したり、寺院に行ってみたりと様々なことを体験してきました。



ゲストハウスの外観



基本的な食事(ターリー)

私の留学レポートは以上となります。留学先で体験したことはまだまだありますが、一旦ここで区切りとさせていただきます。

最後に、留学の準備をしていると、留学は自分一人でやっていくように感じるがありますが、決して自分だけでは留学できません。親や支援していただいた方々の助けはもちろんのこと、留学先の先生方や学生に助けられながら異なる国で生活していきます。留学先でどんどん先生方や学生の力を借りて積極的に取り組んでいけば、必ず自分のためになるようなことが体験できると思います。私はこの留学に行ってから社会的になったと言われることが多く、自分でもそのように感じています。また、英語に対する壁が無くなったように感じ、英語力もアップしたと思います。留学に行けるチャンスがあれば、迷うことなく留学してみるべきです。きっと人生が変わるような出来事が待っているに違いないと思います！